

科目の種類	選択必修	科目名	生物演習	学年	3	単位数	3
コース	理系進学コース						
教科書	なし						
副教材	実教出版「新版アクセスノート 生物」						
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然と生物の関わりを理解することにより、1つの問題を多角的に捉えられるようにします。 ・ センター試験において70%以上の正答を目指し、更に私学の論述問題にも対応できるようにします。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予習（事前解答） 授業（問題解説） 復習（問題復習）のサイクルで授業を進行します。 ・ 適宜、実力を確認する小テストや入試問題を解きます。 ・ 同じ単元を複数回、異なる問題で演習します。 ・ 論述問題はレポート形式で出題し、添削指導を行います。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業では生物室の図解を参考にするとよいでしょう。 ・ 授業で解答した問題を復習することにより、確かな学力となります。 ・ 解らないところは、納得できるまで質問してください。 							
評価方法 テストについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 4回の定期考査が評価の中心です。 ・ 定期考査に平常点を加味して、総合的に評価します。 							
平常点について <ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テストの点数 ・ レポートなどの完成度 ・ 授業態度、出欠・遅刻、レポート期限など個人の学習意欲に関わるもの。 ・ 科学的に捉えることができる能力。 							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	生命の単位「細胞」 細胞内小器官 細胞膜と浸透、能動輸送 細胞分裂 単細胞生物と多細胞生物 生殖と発生 生殖方法 減数分裂	* 生物体を構成している最小の構造である細胞について、電子顕微鏡レベルでこれまでの学習による知識の定着を確認し、問題演習を行います。 細胞内小器官の構造、性質、働きを理解します。 細胞膜による物質の出入りの仕組みを理解します。 細胞分裂について、その意義と仕組みを理解します。 単細胞生物と多細胞生物の長所・短所を理解します。 * 生物の特徴でもある、自分と同じ種を作る「生殖」について学び、入試問題を解きます。 有性生殖と無性生殖の特徴、それぞれの方法を行う生物種について理解します。 配偶子形成時に行う減数分裂について仕組みを理解します。
	第 1 回	定期考査
	植物の発生 動物の発生 発生の仕組み 遺伝 一、二、三遺伝子雑種 検定交雑 様々な遺伝現象	植物の発生の仕組み ・ 配偶子形成の仕組みを理解します。 ・ 受精の仕組みを理解します。 総物の発生の仕組み ・ 配偶子形成の仕組みを理解します。 ・ ウニ、カエル、ヒトの発生の過程について理解します。 1つの受精卵から複雑な構造をもつ多細胞生物が作られていく過程について理解します。 * 入試で必須の遺伝について、これまでの学習による知識の定着を確認し、入試問題を解きます。 配偶子の動きに注意しながら、遺伝の仕組みを理解します。 検定交雑を理解します。 通常の遺伝の仕方とは異なる遺伝の仕方について、各事例を基に理解を深めます。
	第 2 回	定期考査
後期	性と遺伝 連鎖と組み換え 刺激の受容と動物の行動 受容器 神経系 作動体 動物の行動	性決定方法と伴性遺伝について理解します。 連鎖による遺伝子の動き、乗り換えという現象による組み換えを理解します。 * 様々な動物が刺激を感知する仕組み、その刺激を中枢に伝える神経系、そして反応を起こす作動体について理解します。 進化や生活環境による受容器の違いを、構造や刺激認識の仕組みについて理解します。 神経の構造と、刺激伝達を理解します。 筋肉の構造や収縮の仕組みについて理解します。 動物の行動パターンについて理解します。
	第 3 回	定期考査
	恒常性の調節 自律神経系 ホルモン 恒常性の維持 植物ホルモン 光合成と外的条件・光周性	* 生物の体が一定の条件に保たれる仕組みを理解します。 無意識で働いている自律神経系を理解します。 ホルモンの性質、働きを理解します。 自律神経とホルモンが協調して働き恒常性を維持する仕組みを理解します。 植物ホルモンの性質と働きを理解します。 光や温度、二酸化炭素濃度などの外部環境と植物の生育について理解します。
	第 4 回	定期考査

学	年	末	考	查